

スター保険 第9回スター倶楽部定例会開催 「スリースターズ」推進

スター保険は7月27日、第9回スター倶楽部の定例会を開催した。今回は東京都千代田区の同社本社会議室とオンラインのハイブリッド形式で開催され、19代理店から約30人が参加した。中澤良平CEOは、同社の業績が好調に推移していることを説明した他、23年度の中小企業セグメントの注力施策として、①業務災害包括補償保険②総合賠償責任保険③スターマネジメントライアビリティの3商品を「スリースターズ」と銘打ち、クロスセリングを推進していく考えを示した。会の後半では、日本社会保険労務士法人の山口友佳氏による「中小企業にとって社会保険労務士が果たす重要な役割」と題した講演も行われた。

冒頭、スター倶楽部の損害賠償事案など、最近会長を務める根本雅之氏(株)ビジコンネクス社(長)があいさつし、神奈川県川原豆字市の崩落事故の考察した。

業績は直近4年間で2.5倍に成長

冒頭、スター倶楽部の損害賠償事案など、最近会長を務める根本雅之氏(株)ビジコンネクス社(長)があいさつし、神奈川県川原豆字市の崩落事故の考察した。

いると紹介し、「18年からヤンキー・スタジアムのバックスクリーンには大きな看板を出していたが、今回の契約でヤンキーとの関係がより強化された。皆さまにも一緒にヤンキースを応援していただければ幸いです」と語った。

除の幹事など、大企業セグメントが大幅に成長している」と紹介した。

また、スター倶楽部を軸に推進している中小企業セグメントでは、今夏から、①業務災害包括補償保険②総合賠償責任保険③スターマネジメントライアビリティの3商品を「スリースターズ」と銘打ち、安否確認システム「オクレンジャー」や6月からスタートした労務相談サービス「無料de顧問」等の付帯サービスとともに、中小企業

包括補償保険の他、今年度注力していく総合賠償責任保険、スターマネジメントライアビリティ、マリン分野についてそれぞれトピックスと施策を説明した同氏は、9月から業務災害包括補償保険の集団扱いがスタートすることや、24年度に向けてeコマースの開発に取り組みを紹介。さらに、総合賠償責任保険とスターマネジメントライアビリティについては、「業務災害のスター」からの脱却を目指し、新規

で、労務のトレンドとして①勤怠管理の厳格化②給与のデジタル払い解禁③男性育休の増加④多様な働き方の加速化⑤ハラメント問題の激化を挙げ、それぞれポイントを解説した。

最後に、山口氏による講演「中小企業にとって社会保険労務士が果たす重要な役割」が行われた。同氏が所属する日本社会保険労務士法人は日本最大級の土業グループであるSATOグループに属し、6月にスタートした業務災害包括補償保険の付帯サービス「無料de顧問」を提供している。山口氏は社労士の役割について説明した上

キーストスポンサーシップ契約を締結し、2031年までチーム初のユニホームパッチパートナーとなったことを報告した。7月21日のカンザスシティ・ロイヤルズ戦から、選手のユニホームの袖に同社のロゴが付いて

日本支店の業績については、自身が着任してからの4年間で収入保険料が約2.5倍の伸びとなったことを報告。大企業セグメントでは、大手商社の手掛ける火力発電所の幹事や、世界的大手製造メーカーの海上貨物保

の総合的なプロテクションプランとして推進していくと発表した。

満期時のクロスセル案内を強化していくことや、募集人自ら見積もりができるソフトの提供にも取り組んでいることを明かした。

マリン分野についても、22年の年間件数が2.4倍であったことを挙



竹林氏



中澤CEO



根本会長



山口氏



代末氏